

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月27日

上場会社名 クニミネ工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5388 URL https://www.kunimine.co.jp  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勢藤 大輔  
問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 長坂 裕樹 (TEL) 03(3866)7256  
四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 2023年11月27日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,397	5.2	410	179.7	691	43.3	472	86.9
2023年3月期第2四半期	7,032	△1.6	146	△79.7	482	△39.3	252	△52.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 705百万円(△1.4%) 2023年3月期第2四半期 715百万円(6.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	37.88	—	—	—
2023年3月期第2四半期	19.75	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,881	84.0	21,555	84.0	—	—
2023年3月期	24,560	84.5	21,349	84.5	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,895百万円 2023年3月期 20,758百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 創立80周年記念配当 10円00銭

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,700	9.0	1,600	93.1	1,800	31.0	1,200	42.4	96.16	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	14,450,000株	2023年3月期	14,450,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,971,395株	2023年3月期	1,971,395株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	12,478,605株	2023年3月期2Q	12,804,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 1
(1) 経営成績に関する説明	P 1
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になるなど、活動制限の解除により経済活動の正常化が進むなか、総じて緩やかな回復基調となりました。鉱工業生産は、主力の自動車産業を中心に国内生産が回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰や、日本銀行と各国中央銀行の金利差を主因とした円安常態化等、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げている人的投資（教育＋待遇）を強化して、未来のニーズを創造、より付加価値の高い製品、サービスを提供する事で、収益確保に向けて注力して参りました。今後も、円安・インフレの進行とエネルギー価格高止まりによるコスト上昇が懸念され、予断を許さない状況が続いておりますが、中期経営計画の達成に向け、引き続き機動的な価格戦略、原価低減と製品・サービスの高付加価値化による収益の改善に取り組んで参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,397百万円(前年同期比 5.2%増)となりました。利益面につきましては、足元の物価高騰を受けて、給与水準の引き上げ（ベースアップ）を実施した一方、販売単価の見直し、高付加価値案件等への移行に注力した事で営業利益は410百万円(前年同期比 179.7%増)となりました。経常利益は円安の進行により発生した為替差益の影響もあり、691百万円(前年同期比 43.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は472百万円(同 86.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① ベントナイト事業

素形材分野は、自動車国内生産台数が回復傾向にあることや、昨年度から引き続き取り組んでいる価格改定の効果により、大幅な増収となりました。環境建設分野は、復興関連事業の需要が一服したこと等により、減収となりました。ペット分野は、PB品の需要が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,785百万円(前年同期比 9.1%増)、セグメント利益は727百万円(同 248.9%増)となりました。

#### ② クレイサイエンス事業 ファインケミカル分野

クニピアの一般工業用途としての輸出向けの需要が減少した事に加え、製造原価が上昇したことにより、大幅な減収減益となりました。

この結果、当分野の売上高は632百万円(前年同期比 8.7%減)、営業損失は25百万円(前年同期は営業利益94百万円)となりました。

#### ③ クレイサイエンス事業 アグリビジネス分野

農薬受託加工において、水稲用除草剤及び殺虫剤・殺菌剤の需要に落ち込みがあったことに加え、販売予定製品の生産時期が一部下期に変更されたことで、売上計上も下期にずれ込んだ為、大幅な減収減益となりました。

この結果、当分野の売上高は838百万円(前年同期比 8.7%減)、営業損失は93百万円(前年同期は営業利益32百万円)となりました。

#### ④ クレイサイエンス事業 ライフサイエンス分野

昨年の3月より販売を開始した赤潮防除剤の需要が増加し、増収増益となりました。

この結果、当分野の売上高は140百万円(前年同期比 21.1%増)、営業利益は2百万円(前年同期は営業損失13百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ321百万円増加し、24,881百万円となりました。これは主に売却により有価証券が517百万円減少したものの、現金及び預金が276百万円、原材料及び貯蔵品が227百万円、固定資産が213百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、3,325百万円となりました。これは主に買掛金が147百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ206百万円増加し、21,555百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が43百万円、為替換算調整勘定が120百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられますが、当第2四半期における業績は概ね計画通り推移していることから、通期業績予想につきまして、現時点におきましては前回発表(2023年5月12日)からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,542,310	7,819,206
受取手形及び売掛金	4,501,078	4,561,721
有価証券	748,267	230,691
商品及び製品	688,357	809,636
仕掛品	488,403	573,169
原材料及び貯蔵品	2,249,402	2,477,334
その他	192,355	46,440
貸倒引当金	△59	△99
流動資産合計	16,410,115	16,518,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,878,454	1,848,451
機械装置及び運搬具（純額）	1,720,566	1,793,929
土地	1,874,629	1,875,029
リース資産（純額）	87,715	79,684
その他（純額）	128,967	131,616
建設仮勘定	158,983	121,775
有形固定資産合計	5,849,317	5,850,486
無形固定資産	80,092	115,055
投資その他の資産	2,220,623	2,399,251
貸倒引当金	—	△1,584
固定資産合計	8,150,034	8,363,209
資産合計	24,560,149	24,881,311
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	894,401	1,041,619
未払金	569,629	618,386
未払法人税等	307,235	223,058
賞与引当金	148,166	162,038
その他	129,917	107,988
流動負債合計	2,049,349	2,153,090
固定負債		
リース債務	63,641	57,698
繰延税金負債	10,850	10,473
退職給付に係る負債	14,547	15,600
閉山費用引当金	601,452	611,213
資産除去債務	23,494	23,494
その他	447,638	454,374
固定負債合計	1,161,625	1,172,854
負債合計	3,210,975	3,325,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	16,635,132	16,608,676
自己株式	△1,752,478	△1,752,478
株主資本合計	20,172,655	20,146,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	357,908	401,017
為替換算調整勘定	227,878	348,225
その他の包括利益累計額合計	585,787	749,242
非支配株主持分	590,731	659,923
純資産合計	21,349,173	21,555,365
負債純資産合計	24,560,149	24,881,311

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,032,221	7,397,620
売上原価	5,397,819	5,369,763
売上総利益	1,634,401	2,027,857
販売費及び一般管理費	1,487,536	1,617,058
営業利益	146,865	410,799
営業外収益		
受取利息	16,454	22,665
受取配当金	91,419	70,433
有価証券売却益	110,550	77,068
為替差益	152,328	88,139
その他	10,568	25,878
営業外収益合計	381,321	284,186
営業外費用		
支払利息	1,733	1,841
コミットメントフィー	1,256	1,256
仕損費	3,206	—
超過保管料	36,931	—
その他	2,097	—
営業外費用合計	45,224	3,097
経常利益	482,961	691,887
特別利益		
固定資産売却益	4,219	9,677
特別利益合計	4,219	9,677
特別損失		
固定資産除却損	7,387	9,505
災害による損失	1,200	—
訴訟和解金	6,000	—
特別損失合計	14,587	9,505
税金等調整前四半期純利益	472,594	692,059
法人税、住民税及び事業税	173,483	205,676
法人税等調整額	19,533	△2,254
法人税等合計	193,017	203,422
四半期純利益	279,577	488,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,723	15,948
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,853	472,688



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	279,577	488,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	158,081	43,108
繰延ヘッジ損益	△5,709	—
為替換算調整勘定	283,497	173,589
その他の包括利益合計	435,869	216,698
四半期包括利益	715,446	705,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	602,238	636,144
非支配株主に係る四半期包括利益	113,207	69,191

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

第2四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
減価償却費	403,314千円	416,237千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ペント ナイト事業	クレイサイエン ス事業	合計		
売上高					
素形材	3,005,029	—	3,005,029	—	3,005,029
環境建設	1,879,823	—	1,879,823	—	1,879,823
ペット	419,501	—	419,501	—	419,501
ファインケミカル	—	692,551	692,551	—	692,551
アグリビジネス	—	919,087	919,087	—	919,087
ライフサイエンス	—	116,227	116,227	—	116,227
顧客との契約から生じる 収益	5,304,354	1,727,866	7,032,221	—	7,032,221
外部顧客への売上高	5,304,354	1,727,866	7,032,221	—	7,032,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,944	44,747	84,691	△84,691	—
計	5,344,299	1,772,613	7,116,912	△84,691	7,032,221
セグメント利益	208,442	113,901	322,344	△175,479	146,865

- (注) 1. セグメント利益の調整額△175,479千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,523千円及び棚卸資産の調整額103,043千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. クレイサイエンス事業のセグメント損益113,901千円の内訳は、ファインケミカル分野が94,648千円、アグリビジネス分野が32,748千円、ライフサイエンス分野が△13,495千円であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベント ナイト事業	クレイサイエン ス事業	合計		
売上高					
素形材	3,512,069		3,512,069	—	3,512,069
環境建設	1,782,361		1,782,361	—	1,782,361
ペット	490,854		490,854	—	490,854
ファインケミカル		632,566	632,566	—	632,566
アグリビジネス		838,967	838,967	—	838,967
ライフサイエンス		140,800	140,800	—	140,800
顧客との契約から生じる 収益	5,785,286	1,612,334	7,397,620	—	7,397,620
外部顧客への売上高	5,785,286	1,612,334	7,397,620	—	7,397,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,166	48,101	96,268	△96,268	—
計	5,833,453	1,660,435	7,493,888	△96,268	7,397,620
セグメント利益又は損失(△)	727,263	△116,258	611,004	△200,205	410,799

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△200,205千円には、セグメント間取引消去△2,057千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,970千円及び棚卸資産の調整額104,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. クレイサイエンス事業のセグメント損失△116,258千円の内訳は、ファインケミカル分野が△25,833千円、アグリビジネス分野が△93,313千円、ライフサイエンス分野が2,888千円であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「ベントナイト事業」、「アグリ事業」、「化成品事業」の3区分の内、「アグリ事業」と「化成品事業」を統合、「クレイサイエンス事業」にするとともに、「ベントナイト事業」の区分に属していたライフサイエンス分野は「クレイサイエンス事業」へ、所属する区分を変更しております。

併せて、「化成品事業」で取り扱っていた化粧品用途向け精製ベントナイトはライフサイエンス分野へ取り扱いを変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の表示方法を変更しております。変更後の区分は下記のとおりであります。

新区分	新区分の主な製品およびサービス	旧区分
素形材	鋳物用ベントナイト	鋳物
環境建設	土木用ベントナイト、調泥剤、止水材	土木
ペット	ペット用トイレ砂等のベントナイト	ペット
ファインケミカル	精製ベントナイト、環境保全処理剤	化成品
アグリビジネス	農薬加工、農薬基剤及び農薬加工原材料、農業資材等、土壌改良剤、農薬用途向け精製ベントナイト	アグリ
ライフサイエンス	化粧品用途向け精製ベントナイト、環境改良剤、飼料等	ライフサイエンス・化成品

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分、分解した情報に基づき作成したものを開示しております。